

坂和総合法律事務所

事務所だより

第15号 2010(平成22)年盛夏号

編集・発行：坂和総合法律事務所

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

TEL06(6364)5871・FAX06(6364)5820

メール office@sakawa-lawoffice.gr.jp

HP <http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

ブログ <http://sakawa.exblog.jp/>



坂和総合法律事務所、全員集合！
チームワークよく、暑さに負けずがんばってます。

(写真左上から)

稻井 細谷 永田 中野
金子 坂和弁護士 宏展弁護士

(2010年6月28日撮影)

裁判員制度の勉強はこの1冊で！



2010年3月30日発売
河出書房新社・291頁 1400円（税別）

書店で見かけたら
ぜひご購入ください！

暑中お見舞い申し上げます。

1) 郵政民営化を最大の争点とした05年の9・11総選挙、そして「政権交代」が焦点となった09年の8・30総選挙はいずれも夏真っ盛り下での衆議院議員総選挙でしたが、この事務所だよりが届く頃には、7・11に実施された参議院議員選挙の結果が明らかになっています。鳩山由紀夫首相と小沢一郎幹事長という民主党2トップの辞任を受けて登場した菅直人新内閣は民主党支持率のV字回復を果たしましたが、あえて消費税アップを争点とした結果は？新たな政治の枠組みが確立され、「第3の道」である「強い経済、強い財政、強い社会保障」の実現が期待されますが、さてその見通しは？

2) 「レナウン」に対する、山東如意科技集團による40%の資本提携（=買収）にはビックリしましたが、目下最大の注目点は中国の人民元切り上げ容認の動きです。財政不安にあえぐヨーロッパや人民元切り上げ要求を続けてきたアメリカには朗報かもしれません、さて日本の企業や日本全体への影響は？7月1日から実施された年収25万元（約350万円）以上の中国人への個人観光ビザ解禁によって、中国人観光客がどこまで増えるのか、そしてまたどこまでおカネを落とすのかの検証とあわせて、今後いかに中国と向き合うかを腰を据えて考えるべき時期が来ています。

3) 姫路獨協大学の法科大学院生募集停止は今後不可避

な法科大学院統廃合のスタートですが、司法試験合格者を1500名に減らす議論を含めた内向き指向を何とか前向き指向に！そのためには、財政赤字軽減と経済成長の両立を目指し、ニッポン国を今一度洗濯する中でしか司法界も変わらないことを認識し、坂本龍馬のような大きな目でしっかり論点を整理しなければなりません。

4) 09年5月21日に施行され、8月3日に第1号事件が始まった裁判員裁判は、死刑判決がまだない一方、去る6月22日はじめて無罪判決が言い渡されました。依然根強い反対意見もあってその行方は予断を許しませんが、真に国民が参加できる民主的運用のためには、私の著書『名作映画から学ぶ裁判員制度』（2010年3月、河出書房新社）の活用を望みたいものです。

5) 参議院議員選挙の結果を踏まえた今後の日本の進路に注目しながら、1人1人がわが国の政治と経済そして自分の持ち場に責任を持ってこの暑い夏を乗り切りたいものです。私は2度にわたる自転車の転倒事故にもめげず、走り続けます。皆様のご健勝を願っています。

2010(平成22)年盛夏

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

事務所の近況報告（弁護士業務編）

～坂和弁護士より

- ◆ 22年間私を支えてくれた嶋津淳子事務局長が3月末に退職し、代わって金子友次郎が事務局長に就任した。さらに藤崎麻弁護士の退職と入れ替わるように東京で3年半弁護士業務に従事していた長男の坂和宏展が3月中旬入所した。

これによって、従前から係属中の重大事件、難事件の書面作成能力が大幅にアップしたうえ、交通事故事件についても宏展弁護士がすぐにその実務をマスターし、実践でも大奮闘。

- ◆ 当事務所の昼食は賄い食。それを仕切り、かつ事務員の教育全般を担うのが総務・経理の細谷優子。名簿

事務所の近況報告（出版編）

～坂和弁護士より

◆『名作映画から学ぶ裁判員制度』の出版

2009年5月21日裁判員法が施行され、8月3日第1号事件の審理が始まった。それから約1年。2010年5月20日までに裁判員裁判で合計530人の被告人について審理がなされ、最高刑は無期懲役。死刑判決がまだない一方、無罪判決もまだない。新聞紙上では施行1年を契機としてさまざまな特集が組まれ議論がなされているが、私の目にはまだまだ裁判員裁判が本来の役割を果たしているとは思えない。

そんな中3月30日、河出書房新社から『名作映画から学ぶ裁判員制度』が発売された。各書店で好評発売中だ。1から23まで出版した『SHOW—HEYシネマーム』は、もともと売れることを期待せずむやみやたらと出版したが、今回は違う。291頁、1400円と手頃で読みやすいうえ、内容は充実。こりゃ売れないはずがない。

◆『景観・眺望をめぐる法と政策』(仮題) の出版

「事務所だより」の第14号09年新年号で「早急にまとめて出版することを公約したい」と書いた同書の原稿は、ほぼ8割方完成。鞆の浦訴訟一審判決と京都市の景観眺望創生条例のほか、平成21年7月に芦屋市が市全域を景観地区に指定するという画期的な都市計画を決定したからネタは十分。鳩山総理や民主党のような公約破りは御免だから、『名作映画から学ぶ裁判員制度』と同様タイムリーに完成させたい。

◆『名画に見る生き方』(仮題) などの予定

『名作映画から学ぶ裁判員制度』に味をじめた私は

事務所の近況報告（その他）

～坂和弁護士より

◆白内障手術のご報告（1月13日～17日）

私の自慢は60歳になるまで病気やケガで入院したことになかったこと。そんな私が1／13～17まで白内障手術のためはじめて入院した。視力の悪化を感じ始めたのは平成18年4月頃から。検査を受けると、悪い病気はないが核白内障との診断。年のせいで仕方ないらしい。そこでメガネの度数を変えたが、その後も白内障進行のためさらに2度も度数を変更。しかし、運転免許の更新時期となる1月の誕生日を控えて、メガネをかけて0.7見える自信がなかったため

や各種ファイルの管理から坂和のパソコンの世話をまで今やすっかり中堅となった稻井絵美と時にケンカしたり、時に笑いながら日々の業務をこなしている。

- ◆ 「校正大臣」の異名をとる永田ひとみの役割は不变だが、掘り出しがちの中野綾香。新卒の新入事務員が事件担当として両弁護士と事務局長にしごかれながら成長中。もともと怒鳴られ強いのかもしれないが、その芯の強さには私もビックリ。1つ1つの事件の事務処理を通じて、着実にレベルアップして欲しい。
- ◆ 映画評論「担当」だった中島奈緒が6月末に寿退社したため、その方面が手薄になった。早急に補強しなければ。



今再び河出書房新社で『名画に見る生き方』を執筆中。これはタイトル通り〇〇の時、〇〇の時にこんな映画を観て元気をもらい、生きるバネにしようというものだから、狙いはかなりユニーク。秋から冬に発売される予定だから乞うご期待。さらに目下構想中の企画は「坂和式勉強法」。これは独学での司法試験の勉強中に自覚しあみ出した私独自の勉強法を紹介するもの。映画検定3級の合格や09年4月以降の中国語の勉強でも利用している。その極意はとにかく紙に書くこと、そして声に出してしゃべること。つまり、手と耳と口の大活用で意味を理解しながら覚えることだ。これも、乞うご期待。

◆『実務不動産法講義』改訂版の予告

法科大学院の教科書用として民事法研究会の実務法律講義シリーズ9として『実務不動産法講義』を出版したのは平成17年4月。既に丸5年が経過したが、その間の不動産法をめぐる変化は著しい。とりわけ平成19年10月のサブプライムローン問題の発生とそれに伴う世界同時金融危機の発生は不動産と金融をめぐる法律に大きな影響を与えた。平成19年6月に施行された耐震偽装問題に伴う改正建築基準法は建築不況を招き、その「振り戻し」として再改正の動きもある。マンション建替え円滑化法や景観法の活用状況のチェックも大切だ。さらに、債権法改正に向けての動きも加速している。そんな状況下、『実務不動産法講義』の改訂に取りかかっているので、その出版を予告しておきたい。



手術を決意。「通院でもできる」という話もあったが、ここはやはり慎重に入院を決意。両目を続けてやるために4泊5日となり不安いっぱいだったが、無事終了。部屋は特別室だったから快適そのもの。しかも、飲酒がドクターストップされていたから、逆に身体は健康に。退院後はゴミによる感染症を防止するため3ヶ月間目薬が不可欠だったが、今やそれもなし。遠くがよく見えるようになったからメガネ不要となり、今は書面作成や近くのものを読む時だけ老眼鏡を使用。そんな私の変化に気づいた人はどれくらい？

章平コラム

◆ 中国語の勉強は？その到達点は？

1) 09年4月からNHKラジオ講座で始めた中国語の勉強は1年4ヶ月が経過した。猛勉強の甲斐あって、発音はまだまだが読むのはかなりのレベルに到達。ラジオ講座の教科書は6ヶ月毎に変わる。その初心者用と中級者用の両方を使って朝昼15分ずつの勉強が基本だが、それだけでは自己満足の世界。私はそれを2本のICレコーダーとiPodに録音し、移動時にいつも聴くとともに、仕事の合間やファミレスでの集中勉強に活用。日曜日の午前中はファミレスでの2～3時間の猛勉強が定着した。さらに、近時は電子辞書のキーを押しながらのノートづくりが面白く、これをやっていると時間を忘れてしまう。この効用は1つの字をいろいろな単語と関連づけて覚えられることと、中国語で単語の意味を理解できること。

2) 司法試験の受験勉強の時と同じ独学だが、私にはそれが1番向いており集中できる。最近は映画の字幕も中国語に言い換えようとしているほどだ。ピンインが難しいため流暢な会話を交わすレベルにはほど遠いが、文章の大体の意味を掴んだり、筆談しながら意思疎通をはかるくらいは十分できそうだ。なお、法律関係の中国語は全然難しくないから、今後弁護士として中国関連業務に関与することも射程距離に置きながら、一層頑張りたい。もっとも、中国語の勉強は今の私にとって1番楽しくて仕方のないテーマだが、その勉強に暴走しないよう用心しなければ・・・。



← 中国語の勉強風景です。
聞くことと書くことは
これでバッチリ！
あとは話す練習のみ・・・。

落書きではありません。→
これが勉強なのです！



← これが『三種の神器』！
①電子辞書
②ICレコーダー
③iPod



◆ カラダスキャンとフィットネス、それに毎日サウナ生活も！都心居住に感謝！

1) 08年盛夏号の「カラダスキャンでメタボに克つ！」で、私が監査役を務めている株式会社オービックから創立40周年記念で貰ったカラダスキャンの活用ぶりを紹介したが、今や私にとってこれは必需品。毎朝毎晩パンツ1枚になって体脂肪率、体年齢、BMI、基礎代謝、骨格筋率、内臓脂肪レベル、体幹皮下脂肪率をチェックしているが、私の自慢は体年齢。61歳半ばとなった今の体年齢は51～52歳だから約10歳若いことになる。体脂肪もギリギリ20%だから立派なものだ。

2) 私は平成元年に入会した南海サウスタワーホテル（現スイスホテル）のフィットネスクラブに約20年通ったが、自宅が職場のすぐ近くになったため平成20年3月にこれを退会し、北新地の中にある旧全日空ホテル（現ANAクラウンプラザホテル）のフィットネス1本にした。これによって毎日曜日の運動量は20km走から15km走に減少したが、基本的にはそれで十分。

3) そのうえ今年5月からは、「毎日サウナ生活」という強力な味方が加わった。それは北浜駅の上にコナミスポーツクラブ北浜がオープンしたため。会員資格は多種多様だが、月額6300円と1番安い平日夜会員を選択。利用できるのは午後8時半から11時までだが、私にはこれで十分。というよりこれがベスト。なぜなら、まだまだ現役でたくさんの事件を処理しているうえ、昼間の試写室通いという2足のわらじをしている私は、昼間仕事をサボってサウナに行ける身分ではない。そのうえ、毎日曜日に運動しているのだから、平日は仕事帰りにサウナに入るだけで十分。何より嬉しいのは午後11時までオーケーなこと。これなら10時前に入館し、サウナで汗を流しTVでニュースを見ながら着替えをして自宅に帰ることが可能。ホントは30分間でもプールで泳げばもっといいのだが、それは今後の課題。事務所、サウナ、自宅の移動時間は自転車で約5分だから快適そのものだ。

4) こんな形で夜10時から11時までの過ごし方が定着すると、夜の会食後のサウナ、夜の試写会後のサウナも習慣化してきた。そのため近時は皆勤賞の週もざら。フル会員として同時に入会した妻は昼間も土曜日も通っているから、わが家の風呂はほとんど不要となった。また「タオルプラス」のサービスによって月千円で大小のタオルを毎回貸してくれるから、健康効果のみならず経済効果も抜群。こんな風にほぼ毎日サウナ生活を満喫できるのは、都心居住のおかげと感謝！

◆ 天神祭パーティー中止のお知らせ ◆

毎年数多くの友人や依頼者の方にお集まりいただいております坂和事務所恒例の天神祭懇親パーティーですが、今年7月25日は日曜日のため、やむなく中止とさせていただきました。楽しみにしていただいた皆さんには申し訳ありません。来年は必ず開催しますので、その際には2年分しゃべって、笑って、歌って（？）、大いに楽しみましょう！

北京・大連・青島旅行記

(2010年3月13日～18日)

1) あなたは、日清戦争当時の清国北洋艦隊の旗艦「定遠」を知ってる？『坂の上の雲』では、定遠の巨艦ぶりに度肝を抜かれたものの、主砲に洗濯物を干している姿を見て東郷平八郎や秋山真之が清国軍の規律の乱れを見破った逸話がある。

定遠は1894年9月の黄海海戦で損傷を受け威海衛に退避したが、水雷艇の夜襲によって沈没。

しかし今、山東省の威海には全長94.5m、全幅18.4m、満載排水量7333トンの定遠号の威容がある。これは04年に5000万元（約70億円）をかけて建造されたもので、定遠艦景区は年間60万人の観光客が訪れる一大テーマパークだ。昨年末の毛丹青氏の提案で、私はこの視察旅行に。

2) 旅順観光（3／13）

私のはじめての中国旅行は00年8月の大連・瀋陽旅行。この時は行けなかった旅順の観光が今回実現した。メインは①東鶴冠山景区、②白玉山、③203高地。

まずは、激戦地となった東鶴冠山景区の位置図。次に旅順日俄戦争陳列館で日本軍を苦しめた機関銃や堅固な堡壘を確認。これでは決死の覚悟で突撃した白禪隊の全滅も当然だ。白玉山は日本軍人の遺骨を収納した「表忠塔」だが、今そこには軍港旅順口の表示がある。ここで購入した280元の『旅順・日俄戦争』は私の貴重な教科書となった。



ところで、なぜ203高地という名前が？それは山の高さが203mあるから。乃木大将率いる第三軍が東鶴冠山を中心とする主防衛線の突破を断念し、203高地攻略に主力を向けたのはなぜ？日式280mm榴弾砲を60台余り日本から運んだのはなぜ？それは、今も貴重な軍港となっている旅順口の戦略的地形を見ればよくわかる。沖縄の普天間基地移転問題も、高度な安全保障の戦略から考えなければ・・・。



3) 大連理工大学での合同講演会（3／14）

視察にあわせて、大連理工大学での毛丹青氏との合同講演会が実現。これは09年8月の『取景中国』の出版に伴う上海ブックフェアへの出席と、上海華東理工大学外国語学院での毛丹青氏との合同講演会に続くもの。09年11月の廈門城市職業学院での景観法の講義はレジメ作成などの講義準備が大変だったが、今回はすべてアドリブでの生き方論、勉強論が中心だから、気が楽。まずは500名を収容する大教室の最前列に座り、09年10月にCCTV（中国中央電視台）で放映された毛さんの『華人世界』の『從魚販到雙語作家』を30分間鑑賞。これによって、毛さんの活動を知ってもらうわけだが、その中には1分間だけ私の映像も登場！今日は私の登壇時間は少なかつたが、講演終了後は『取景中国』のサイン会。250名のサインは初体験だ。



4) 定遠艦景区視察（3／15）

まず「熱烈歡迎坂和章平先生、毛丹青先生一行様」の文字が流れる電光掲示板に注目！私たちの定遠艦景区視察は地元からこんなすごい歓迎を！定遠号の威容は2枚の写真で明らか。305mmの主砲、150mmの副砲、57mmの速射機関砲、そして3隻の魚雷艇、高いマストと2本の煙突などに注目。なお、黄龍旗は北洋艦隊の旗号だ。

定遠号の艦内は巨大な歴史館。膨大な写真と資料そして蝦人形によって水兵室や機関室などの生活感や現実感がリアル。北洋艦隊の司令長官だった丁汝昌のイスに座った私の威厳は？



強い寒風の中関係者の視察を終えると、昼食会に続く夜の会食。最高級の料理の数々に舌鼓を打ち、1972年に日中国交回復を実現させた周恩来と田中角栄会談の時に提供されたのと同じ茅台酒（マオタイ酒）を何杯も。そして、乾杯のくり返しによって、貴重な人脈形成もしっかりと。さあ、今後いかなる展開が？

5) 劉公島観光（3／16）

清国の指揮所があった劉公島には今、甲午戦争博物館がある。定遠号の設計や博物館の設営に関与した若手民間軍事研究家の陳悦さんの案内でこれを見学。入口には「喚起吾国千年之大夢」（我が国が千年の長い夢から呼び起こされたのは）と「実自甲午一役始也」

（実際に甲午戦争（日清戦争）から始まったのだ）の文字。巨大な館内には、瀋陽の「9.18記念館」と同じく蠍人形や電光を駆使してさまざまな展示が。また海軍礼儀庁には、巡洋艦濟遠から引き揚げられた主砲・副砲や碇などがそのまま展示。日本もノ一天氣な平和論にうつつを抜かさず、日清戦争から再度学ばなければ。



6) 青島海軍博物館見学（3／17）

青島は2回目だが、その美しさは中国一。お馴染みの八大閣や花石楼の見学後、海軍博物館へ。ここではホンモノの潜水艦237艇の見学ができる。『眼下の敵』（57年）、『U・ボート』（81年）、『K-19』（02年）、『ローレライ』（05年）など潜水艦モノの名作は多いが、その艦内は？全長76m、幅6.7

mの艦内の狭さは想像以上。魚雷発射室や機関室に場所をとられるから、艦長室も指揮所もひどく狭い。これでは身体のデカイ男は潜水艦乗りは無理。ちなみに、237艇の大きさは北朝鮮の主力潜水艦ロメオ型と同程度だから、全長35m程度のサンオ型、ヨノ型の狭さは？

青島での夕食は海鮮一条街にある島城海鮮第一村。運転手紹介の自慢の店だ。自分で生きている魚や貝などを注文し、すぐに料理してもらって食べるのだからおいしいのは当然。カニ、ほたて、えび、ウニとメチャうまの青島ビールをたらふく飲み食いして、How much？ちなみに、毎日こんな海鮮料理と青島ビールを飲んでいる青島市民には痛風患者が多いとか？



7) 翌3月18日は美しい海岸から石老人を望み、道教の山、（山勞）山に登りそこから美しい景色とお茶を堪能。しかして、あっという間に充実した6日間が終了した。



坂和章平とすばらしき人たち～交遊録 その8～河合晃男税理士

私が河合税理士とはじめて出会ったのは、08年7月。昔からの依頼者の紹介で、不動産買い戻し事件の相談を受けた時だ。税理士は税務申告をするだけではなく、それに関連した相談を聞くから、それが法的紛争になれば弁護士の協力が必要となる。私にはそういう業務で関係している友人の税理士がたくさんいるが、驚いたのはまだ20歳代のイキのいい税理士だったこと。相談案件はかなりの難事件だったが、何とも大胆かつオリジナリティ溢れる戦略と真剣な対応によって見事に解決。この事件処理の中で培われた互いの信頼と、若いのに中国好き、特に三国志大好き人間というキャラが、倍ほど年の違うわがままオヤジのキャラと同ベクトルだったらしく意気投合することに。その結果、彼は私が月に1度参加している中国通が集まる「お茶会」にも参加するようになったうえ、事件の相談や依頼が増えてきた。

知り合った当時は勤務税理士だった彼も、09年1月には独立して会計事務所サンタックスオフィスを設立し、北浜駅のすぐ近くに移転した。そして、私

が平日だけの夜会員として毎日のように通っているコナミスポーツクラブ北浜へも入会。その結果、今では互いの裸身を見せ合いながらの交流も時々ある。最近めったに見ないいい若者だから、そのうち結婚相手を世話してやろうと秘かに思っていたのに、ある日バッタリ出会った行きつけの焼肉屋で彼女を紹介されたうえ、今年4月には「結婚しました」との報告も。婚カツ、婚カツと騒いでいるニッポン国だが、やっぱりいい玉は早く売れるものだと痛感。今後は、私のみならず宏展弁護士の同世代の良き友人として交流を深めるとともに、仕事のうえでも密着度を深め、かつ競いあっていきたい。



お気軽にご相談ください！
会計事務所
サンタックスオフィス
TEL(06) 6226-1710
<http://www.suntaxoffice.jp/>

入所のごあいさつ

弁護士 坂 和 宏 展 (ひろのぶ)

◆ 坂和弁護士の長男、坂和宏展です。修習生として上京してから足かけ5年の東京生活を終え、3月15日付けで大阪弁護士会への登録換えも済ませ、坂和事務所の一員となって早くも3か月余りが経過しました。移転当初は、土・日・月で引越作業、火曜は前事務所の事件で横浜地裁での証人尋問をやり、その足で新幹線に乗り大阪に戻って水曜から坂和事務所で執務開始というハードスケジュールもあって、とにかくバタバタしていましたが、ようやく自分のペースが掴めてきたように思います。坂和弁護士は我が父親ながら仕事の面では厳格な大先輩でもあり、正直なところうまくやっていけるかどうか心配だったのですが、幸い3年半の東京での「武者修行」は無駄ではなかったようで、坂和弁護士からも「これだけできれば・・・」とまずまずの評価を受けることができ、ほっとしています（一番ホッとしているのは、息子を叱りつけずに済んでいる本人かも？？？）。

◆ 東京から大阪に移転して、何か変わったか？と聞かれることが多いのですが、仕事の面ではそれほど大きな違いはないと思います。ただ、東京のほうが明らかに人が多いというのは強く実感するところで、都市としてのトータルパワーの格差のようなものを感じます。弁護士人口も、東京は東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会のいわゆる「東京三会」あわせて1万4000人近いのに対し、大阪弁護士会は今年6月1日現在で3584人とわずか4分の1程度です。その分「顔が見える」ことが多く、人付き合いの面では良いことが多いのですが、渦中の法曹人口問題も含め、「カップの中の話」になりすぎないよう意識しなければ、と思います。

◆ といっても、朝・昼・夕方は当然仕事で多忙、なかなか「外に出て交流を深める」機会を作るのは難しい現状で、私が実践しているのはインターネットのソーシャル・ネットワーキングサービス「mixi」（ミクシィ）での交流です。弁護士業界の中にも著名な「ブロガー弁護士」（略すと「プロ弁」？）が多数おられますが、ブログは本当に誰でも見られるため、手軽に自

分の意見を発信するのには向いていますが、1人1人と丁寧なコミュニケーションを図るのは負担が大きく、難しいツールだと感じています。mixiの仕組みは私なりの「距離感」にぴったりだったこともあり、修習生時代から「日記」を書き始めてすでに4年以上経過しました。思うところあって、約2年前から「弁護士として、法曹ではない方々と法律問題に関する意見を交わす機会を持ちたい」ということで「死刑制度」や「裁判員裁判」「法と道徳」などかなり堅苦しいテーマを選び、チラ論文めいた日記を執筆しています。当初考えていたよりずっと大勢の、多種多様な経験をお持ちの方々に日記を読んでいただくことができ、また、書き込まれるコメントに考えさせられることも多く、貴重な交流の機会であると同時に勉強させてもらう場となっています。もっとも、あまり固い日記ばかりでは読者に飽きられてしまうと考え、ユーモアの利いた軽い読み物も挟むようにしていますが、これは「ウケる」時と「ウケない」時があり、また違った意味での勉強になっています。こんな私の日記を読んでやろうという方は、mixiで「sakawa hironobu」という名前を検索するとすぐヒットしますので、探してみてください。もちろん、私は（株）ミクシィの回し者ではありません。同社と当職の間には何ら利害関係はありませんので念のため・・・。

◆ 他方で、最近爆発的に流行している「Twitter（ツイッター）」にはうまく入り込むことができないでいます。これは、140字以内の手軽な「つぶやき」を共有することでリアルタイムに緩やかなつながりを持つことができる「ミニブログ」ですが、文章を練って丁寧に書いていきたい私のスタイルには合っていないのかもしれません。もっとも、同じニーズを満たすサービスではないので、新たな活用スタイルを見つけて時代に乗り遅れないようしたいと思います。

◆ そんなこんなでスタートした大阪生活もこれからが本番。「賄い付き法律事務所」である坂和事務所で、東京時代より格段にスリムになった（かなり大きさ）機動力を生かし、仕事に趣味にパワーアップを図りたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

事務所の近況報告（事務局編）

～事務局長金子より



◆ 今年3月、坂和弁護士の長男である坂和宏展弁護士が入所しました。私が入所した平成15年3月時点では宏展先生は大学4回生になろうとしていたところで、初めて会ったのはその年の夏ごろだったと思います。穏やかな人柄がにじみ出たかのような温厚な外見で、第1印象は「え？ ホンマに坂和弁護士の息子なん？ 似てへんなー」というのが正直なところです。しかし、「父子鷹」というかカエルの子はカエルというか（悪い意味ではありません。念のため）、大学を卒業した年に司法試験に合格していることや、読書量がハンパじゃないこと、日本近代史の知識が深いこと（軍事に関しては宏展先生の方が上？）など共通点も多くあるようです。弁護士の生命線である書面作成では、私からすれば「さすが！」という出来映えで毎日うならされています。まさに「即戦力」の宏展弁護士が入った

坂和事務所はますますパワーアップしています！ ちなみに坂和事務所では、坂和弁護士を「坂和先生」と呼び、宏展先生を「ヒロ先生」と呼んでいますので、電話等で呼び出される際にはご参考に。

◆ 私自身は、4月から事務局長という立場になりましたが、まだまだ「事務局長」としての役割を十分に果たせていないと日々反省しています。事務所全体の仕事の流れと人の動きに気を配り、坂和弁護士と事務局員の橋渡し役となることが期待されていることは自覚していますが、その期待に応えられていない自分に対する歯がゆさを強く感じています。異例な「近況報告」ですが、そのような私の「近況」を率直に報告することが自身への叱咤になると大目に見ていただき、今後ともよろしくご指導のほどをお願いします。

映画評論家『SHOW-HEY』の部屋

～夏休みとその前後のお薦め作品～

『華麗なるアリバイ』(フランス映画)

梅田ガーデンシネマ、7月下旬公開

(監督・脚本: パスカル・ボニゼール)

(ミュウ=ミュウ、ランペール・ウィルソン出演)

原作はアガサ・クリスティーの『ホロー莊の殺人』。大邸宅に集う9人の男女の核はピエール。妻、現愛人、元愛人、元恋人という4人の女がそろえば、一波乱は必至。と思うと、すぐに第二の殺人も！さあ、犯人は？舞台と俳優をフランスに移した、おしゃれで味わい深い推理を楽しもう。

『闇の列車、光の旅』(アメリカ、メキシコ映画)

シネ・リーブル梅田他、8月7日公開

(監督・脚本: キャリー・ジョージ・フクナガ)

(パウリーナ・ガイタン、エドガー・フロレス出演)

ホンジュラスの少女がメキシコを経てアメリカへ密入国を目指すのは何のため？それは「脱北者」が後を絶たないのと同じ？「南北」の緊張が高まる中、ノ一天気な日本人はこんな映画を観て勉強しなければ。ここにまた、国境越えロードムービーの名作が誕生！邦題の意味をしっかり噛みしめながら、国境越え「ロミオとジュリエット」の恋を味わいたい。

『キャタピラー』(日本映画)

テアトル梅田他、8月14日公開

(監督: 若松孝二)

(寺島しのぶ、大西信満出演)

35年ぶり。日本人3人目の快挙！寺島しのぶの第60回ベルリン国際映画祭最優秀女優賞ゲットに拍手！しかしそれ以上の注目は、あの戦争のテーマをこのように設定したことのすごさと演技の迫力。これぞ映画！これぞ問題作！内向き思考が蔓延する斜陽の国ニッポンは、今こそ若松孝二監督のこんなチャレンジに覚醒しなければ！

『ヤギと男と男と壁と』(アメリカ、イギリス映画)

シネ・リーブル梅田他、8月14日公開

(監督: グラント・ヘスロヴ)

(ジョージ・クルニー、ジェフ・ブリッジス、
ユアン・マクレガー出演)

まずは豪華4人の俳優陣、とりわけ『スター・ウォーズ』新3部作でジュダイ騎士オビ=ワン・ケノービ役を演じたユアン・マクレガーに注目！次に、何とも奇妙な邦題に注目！ヤギや壁が男と一体どんな関係に？キーワードは超能力！イラク戦争で米軍の早期撤退ができたのは、超能力を駆使する極秘部隊「新地球軍」のおかげ？その真相が本作によって解明！こりや、夏休み中の頭の体操には、もってこい？

『東京島』(日本映画)

梅田ブルク7他、8月28日公開

(監督: 篠崎誠)

(木村多江、窪塚洋介出演)

夫婦2人の船旅は無惨にも無人島へ漂着！そこに流れ着いた16人の若者との共同生活とは？それだけでも面白いが、さらに6人の屈強な中国人が漂着？そこでくり広げられるパワーバランスと女の生きザマとは？現実ピッタシの日中若者論を考えながら、ありえないストーリー展開を楽しみ、かつ熟考したい。

う~み庇援団

坂和事務所の天神祭パーティーなどでステキな歌声で華を添えてくれているう~みが、3月3日に新アルバム『暖々』をリリースしました。そしてなんと！このアルバムには、前事務局長の嶋津が作詞、坂和弁護士が作詞協力をした『some~ミマモッティルヨ~』が収録されています！



ぜひ聴いてください！ (税込 2500円 品番 BZCS-1068)



◆ 業務時間 ◆

平 日 午前9時～午後6時

土曜日 午前9時～午後3時

(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

* 相談にこられる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。

* また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにていただければ幸いです。

* お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー用)を参照して下さい。

事務所のホームページ

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>

から印刷していただくか、連絡をいただきましたらFAXします。

記念すべき第1号

シネマームをプレゼントします！！



02年の『SHOW-HEY シネマーム I ~ニ足のわらじをはきたくて』の出版に始まる『シネマーム』シリーズは、パート24まで完成しました。『シネマーム』を通じて、たくさんのステキな方々と出会い、人生、歴史、法律など様々なことを楽しみながら学ぶことができました。私の映画評論を読んで、是非皆様にも映画のすばらしさ、学ぶことや考えることの楽しさを知ってもらいたいと思います。

シネマ22からは『お薦め50作』と表記をあらため、かつ年間2冊に絞りましたが、多い時には年間4冊も出版したこともあり、特に『シネマーム』4~21は今なお大量の在庫があります。そこでこの際、『シネマーム』を読んで楽しんでいただける方に1~24を無料でプレゼントすることとしました（但し、シネマ22は在庫薄のため除外）。1~24までの全掲載数は1713作品ですから、全巻そろえればラインナップは相当なものです。FAX、メールで申込みいただければすぐに郵送します（但し、送料だけは負担して下さい）ので、遠慮なくどしどしお申し込み下さい。



中国映画特集

中国大好き！中国映画大好き！なSHOW-HEYが自信をもってオススメする中国映画評論集



シネマーム1~24掲載作品抜粋（全掲載作品数1713作品）

- シネマ1 ワイルドシングス、パールハーバー、39〔刑法第三十九条〕、黒い家 など計44作品
- シネマ2 ホタル、チョコレート、ギャング・オブ・ニューヨーク、たそがれ清兵衛、壬生義士伝 など計75作品
- シネマ3 ラスト・サムライ、エデンより彼方に、裁判員一決めるのはあなた、スパイ・ゾルゲ など計101作品
- シネマ4 ロード・オブ・ザ・リング—王の帰還、トロイ、海猿、世界の中心で愛をさけぶ、など計68作品
- シネマ5 **(中国電影大観パート1)** 紅いコーリヤン、青い凧、小城之春、春の惑い、三国志、阿片戦争、山の郵便配達 など計66作品
- シネマ6 スパイダーマン2、80デイズ、ハウルの動く城、オールド・ボーイ、血と骨、チルソクの夏 など計81作品
- シネマ7 アビエイター、ローラライ、Uボート最後の決断、CEO、カーテンコール、交渉人真下正義 など計78作品
- シネマ8 **(韓国映画特集)** 恋する神父、セックス イズ ゼロ、亡国のイージス、ヒトラー～最期の12日間～ など計75作品
- シネマ9 男たちの大和/YAMATO、ルパン、THE 有頂天ホテル、単騎、千里を走る。、春の雪 など計70作品
- シネマ10 県庁の星、博士の愛した数式、連理の枝、カサノバ、子ぎつねヘレン、ブロークバック・マウンテン など計61作品
- シネマ11 バイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト、日本沈没、佐賀のがばいばあちゃん など計74作品
- シネマ12 父親たちの星条旗、硫黄島からの手紙、地下鉄に乗って、フラガール、王の男 など計75作品
- シネマ13 ドリームガールズ、天井桟敷の人々、キサラギ、百年恋歌、NANA2、大奥、ダウト など計76作品
- シネマ14 007/カジノ・ロワイヤル、ロッキー・ザ・ファイナル、それでもボクはやってない、愛の流刑地 など計67作品
- シネマ15 オーシャンズ13、西遊記、傷だらけの男たち、ミス・ポーター、長江哀歌、0(ゼロ)からの風 など計79作品
- シネマ16 椿三十郎、アフター・ウェディング、グッド・シェパード、Uボート、4分間のピアニスト など計72作品
- シネマ17 **(中国電影大観パート2)** インファナル・アフェアIII、PROMISE、墨攻、桃色、ココシリ など計83作品
- シネマ18 ノーカントリー、ヒトラーの贋札、実録・連合赤軍 あさま山荘への道程、茶々天涯の貴妃、母ベえ など計76作品
- シネマ19 **(韓国映画特集2)** 太王四神記、インディアン・サマー、光州5・18、ブレス、スルース、フィクサー など計85作品
- シネマ20 相棒—劇場版—、幸せになるための27のドレス、接吻、闇の子供たち、ゲキ×シネ「メタルマクベス」など計78作品
- シネマ21 20世紀少年、レッドクリフI、まぼろしの邪馬台国、マンマ・ミーア！、おりりびと、12人の怒れる男 など計74作品
- シネマ22 愛のむきだし、英國王 納仕人に乾杯！、チェンジリング、スラムドッグ\$ミリオネア、真夏のオリオン など計50作品
- シネマ23 アンナと過ごした4日間、イングロリアス・バスターズ、沈まぬ太陽、グラン・トリノ、ちゃんと伝える など計50作品
- シネマ24 アバター、ハート・ロック、フローズン・リバー、今度は愛妻家、ミレニアム ドラゴン・タトゥーの女 など計50作品

好評発売中!!

『取景中国:跟着电影去旅行
(Shots of China)』
(定価48元=750円・税込)
注文・問合せは坂和総合法律事務所まで
お願い致します。お待ちしています。



プレゼント第2弾！

日頃の感謝を込めて次の書籍も希望者にプレゼントします。

H17の愛媛大学法文学部での「都市法政策」の集中講義をまとめた

『実況中継 まちづくりの法と政策4』

H13からH19までの津山再開発をめぐる闘争をまとめた

『津山再開発奮闘記—実践する弁護士の視点から—』

坂和弁護士が書いたコラム・評論等をまとめた

『がんばったで！31年ナニワのオッチャン弁護士評論・コラム集』